

科目名称	生活環境学
授業コード	AD342
英語名称	Theories on Living Environment
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	西條 富美代, 五味 雅大
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	理学療法士を目指すうえで必要な生活環境について理解を深める。 人が生活していく上での環境との関わりを理解し、より良い生活を送る上での、環境整備の考え方、方法について学ぶため、理学療法士としての臨床経験のある教員および多くの住宅改修経験のある建築士が講義する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	理学療法士を目指すうえで必要な生活環境についての評価の仕方、関連法規、考え方などを、理学療法士として臨床経験のある教員が分担して講義する。
到達目標	ディプロマポリシーに掲げる基本的な理学療法を实践できる知識と技術を身につけることを目標とする。 1. 生活環境とヒトの生活の関わりについて考えられる。 2. より良い生活を送るための生活環境について考えられる。
計画・内容	1) 生活環境学とは 担当：西條（理学療法士） 2) 生活環境の基礎（人的・物理的・制度的） 担当：西條（理学療法士） 3) ユニバーサルデザインと福祉用具 担当：西條（理学療法士） 4) 生活環境の日常安全性 担当：西條（理学療法士） 5) 在宅ケアとハウスアダプテーション 担当：五味・西條（理学療法士） 6) 施設環境と療養環境 担当：五味（理学療法士） 7) 生活環境評価と対応 生活環境評価 事例検討 担当：西條・五味（理学療法士） 8) 生活環境評価と対応 生活環境整備 事例検討 担当：西條・五味（理学療法士）
授業の進め方	・教科書、パワーポイントを使用した授業形式で、他の資料など適宜活用する。 ・グループ分けを行い、課題についてディスカッションを適宜行う。
能動的な学びの実施	アクティブラーニングを取り入れ、演習を適宜行う。
授業時間外の学修	・授業前に予め教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと（各回1時間程度） ・教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること。（合計35時間程度） ・グループで検討した内容をまとめる（合計10時間程度）

授業時間外の学修	
教科書・参考書	<p><教科書> 徳田良英監修：「生活環境論入門 第3版」 DTP出版</p> <p><参考書> 野村歡・他：「OT・PTのための住環境整備論 第2版」 三輪書店</p>
成績評価方法と基準	授業で提示する課題の総合点(100点)とする。
課題等に対するフィードバック	・作成したレポートを授業内で、授業内でフィードバックを行ったり、グループ討議の資料として使用する。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Zoomによるオンライン授業と課題学習を組み合わせる。 <p>成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で提示する課題の総合点(100点)とする。